

教师用书

现代日语听力教程

第一册

外语教学与研究出版社

日本名古屋大学语言文化部日语科编

现代日语听力教程

第一册 (教师用书)

张基温 孙玉林 吕静萍 改编

外语教学与研究出版社

(京)新登字 155 号

京权图字: 01-98-0563

图书在版编目(CIP)数据

现代日语听力教程 I:教师用书/张基温等改编. — 北京:外语教学与研究出版社, 1997. 12

ISBN 7-5600-1320-1

I. 现… II. 张… III. 日语-视听教学-教学参考资料 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(97)第 17674 号

现代日语听力教程

第一册

(教师用书)

张基温等 改编

* * *

外语教学与研究出版社出版发行

(北京西三环北路 19 号)

北京外国语大学印刷厂印刷

新华书店总店北京发行所经销

开本 850×1168 1/32 5.5 印张 121 千字

1998 年 8 月第 1 版 1998 年 8 月第 1 次印刷

印数: 1—5000 册

* * *

ISBN 7-5600-1320-1

G·549

定价: 6.90 元

前 言

本书是《现代日语听力教程第一册》(学生用书)的教师用书,是供教授本教程的老师在教学时做参考用的。建议学习本教程的学生在学习新课前,不要翻看教师用书,以利于培养、提高自己的自学能力。

教师用书包括『関連知識』『関連語彙』『問題解答』及『スクリプト』等内容。

张基温

1994年8月15日

目 次

第 1 課	1
A. 自己紹介	1
C1. ゼミの時間と教室の変更	9
C2. 休講	16
第 2 課	22
A1. バスの車内放送	22
A2. 電車の案内放送	28
B. 出迎えの約束をする	37
第 3 課	42
B1. レストランで注文する	42
B2. 日本料理の説明を聞く	50
C. コンパの会場	55
第 4 課	62
A. お知らせ	62
B. 時間を問い合わせる	69
第 5 課	76
B1. 病院の受付で聞く	76
B2. 歯の治療をする	82
C. お見舞い	86
第 6 課	96
A. デパートで	96
B. 医療費補助の申請をする	103
C. うわさ	112
第 7 課	120
A1. 天気予報	120
C. 台風	128

A2. 金環食についての番組の紹介	133
第 8 課	139
A. ニュース:現金輸送車強奪事件	139
C. 現金輸送車強奪事件について	144
B. かばんをなくす	150
第 9 課	157
A. 講演:話しことば	157
C. 日本人のリズム感	162

第 1 課

A. 自己紹介

関連知識

1. 自己紹介

自己紹介とは自分のプレゼンテーションです。自己紹介の場面で、まず初めに印象を与えるのは言葉ではなく、顔、態度、服装などの相手の目に映る姿です。その中でも表情が最もインパクトが強いです。あたたかみのある柔和な表情で自己紹介に臨むことができれば、それだけで、すばらしいプレゼンテーションになります。

自己紹介は当然自分を分かってもらい、親しみを持ってもらうことが目的です。紹介と言っても、他人を紹介するのではなく、自分を紹介するのですから、かえって、やりにくい面があります。謙遜すぎて、印象に残らなかったり、奇抜すぎて違和感が強かったりで、簡単なようで、「一味違った」「気のきいた」自己紹介となると、そう簡単には行きません。

また同じような内容の自己紹介をしても印象に残る人と、そうでない人がいます。声や態度などもありますが、ちょっとした工夫でだいぶ違ってくるのです。

その方法の一つは次のとおりです。

〈1〉あいさつ——感じよく、その場にふさわしい、いきいきとし

たあいさつから始めます。

〈2〉名のり——フルネームで、しっかり名のり、名前を覚えてもらうために、字の説明をしたり、由来を話したりするのもよいです。

〈3〉内容——自己紹介の本論で、出身地、出身校、勤め先、仕事の内容、家族、住まい、趣味、特技、今後の希望、最近の関心事などの中から、ふさわしいものを選んで話します。

〈4〉名のり——話の最後にもう一度名前をはっきり言います。

〈5〉あいさつ——おしまいのあいさつで、話の余韻ともなりますから、大事にして、心をこめて、聞いてもらったお礼を言います。

自己紹介で、いい印象を与えられるかどうかは仕事の上でも、人生においても、おろそかに出来ない問題です。人前での自己紹介やあいさつが下手では、自分では気づかぬうちに笑ひ者にされてしまいます。ましてや会社を代表しての自己紹介、あいさつとなると、会社のイメージダウンにもなりかねません。

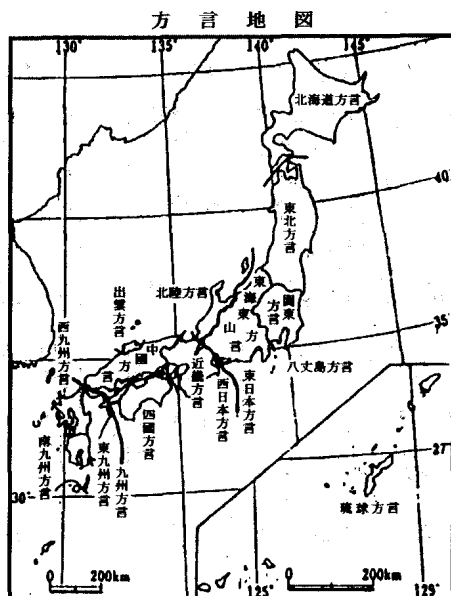
2. 合気道

合気道は日本伝来の武道の一つで、心身の鍛練を基本とし、徒手をたてまえとしながら、刀、槍、棒による攻撃にも備える多様性のある護身術です。技の特色は殺傷を目的とせず、相手の手首、腕の関節の弱点を利用し、倒す、投げる、押さえることにあります。

3. 方言

方言は地域的、職業的、世代的なことばの分化現象です。日本語の地域的な方言は東部方言、西部方言、九州方言などの地域

名を冠しますが、俗には関東弁、関西弁、九州弁などとも言われます。広島弁は広島方言です。東部方言と西部方言の文法と音韻面での相違点は大筋で次のようなものとされています。



項目	東日本	西日本
(1) 動詞の命令形語尾	ロ	ー(イ)・ヨ
(2) サ行五段活用 of 連用形 + タ	ダシタ	ダイタ
(3) ハ行五段活用 of 連用形 + タ	オモッタ	オモータ
(4) 形容詞 of 連用形 + ナル	アカクナル	アコーナル
(5) 指定を表す助動詞	ダ	ヤ・ジャ
(6) 打消を表す助動詞	ナイ	ン・ヘン
(7) 意志を表す助動詞	ベー	(ウ)・ヨー

4. 大学のクラブについて

日本の大学には日ごろの課外活動として、文化会系のクラブ、同好会や体育会系のクラブなど学生サークルがあります。学生が共通の興味、関心によってつくったクラブ組織を通じて、自主的に文化活動や体育活動などを行っています。このほか、運動会、演奏会、文化祭などの年中行事が主に春と秋に催されている

ます。

文化会系クラブ

弁論	英文学	電子計算機	自然科学	会計学	社会学	証券	E・S	産業	法律	ユネスコ	学術系クラブ
古学	文学	電子計算機	自然科学	会計学	社会学	証券	E・S	産業	法律	ユネスコ	学術系クラブ
研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究
部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会
和落漫	アルマ	フオー	タ	声	基	舞	音	真	道	道	道
語画	フ	ク	ン	グ	ラ	ブ	ブ	ブ	ブ	ブ	ブ
楽研	メ	ン	グ	ラ	ブ	ブ	ブ	ブ	ブ	ブ	ブ
究究	ギ	タ	ラ	ブ	ブ	ブ	ブ	ブ	ブ	ブ	ブ
部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会	部会

体育会系クラブ

アス	ス	水	相	弓	剣	柔	卓	軟	硬	硬	サ	ラ	バ	ス	陸	新	体
スケ	キ																
ホッ																	
ケ																	
ト	泳	撲	道	道	道	球	球	球	球	球	球	球	球	球	球	球	球
山	空	合	少	日	自	ユ	レ	舞	ボ	レ	フ	洋	ボ	ウ	ル	ル	ル
メリ																	
カン																	
岳	気	寺	動	ホ	ス	エ	シ	リ	シ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
フツ	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳
ット																	
ボ																	
部	手	道	法	法	車	ル	ン	踊	グ	グ	グ	グ	グ	グ	グ	グ	グ

関連語彙

名前	ニックネーム
特技	専門
活発	我慢強い
趣味	興味
部活	サークル

所属	出身地
専攻	同窓会
得意	苦手
同好会	好奇心

問題解答

I. 背影について(略)

II.  聴解のポイントのための練習

1. _____ にことばを書ってください。意味も言ってく

ださい。

(1) 阿波踊りは、やっぱ踊ってみなきゃ
sondesuyo.

(2) 徳島は、とても いいところ ですから、
一度踊りに来てください(いちどりにきてくださ
い)。

(3) ほくより 金子さんのほうが(かエこさんのオウが)
上手です。

(4) このクラブには、ぼくの親父の影響で
(ぼくノヤジの影響で) , 入りました。

2 二つの文を聞いて、意味の違いを言ってください。

(1) 佐藤さんは、スポーツが得意で、勉強ができます。

(2) 鈴木さんは、スポーツが得意です。佐藤さんは勉強が
できます。

〈スクリプト〉

(1) 鈴木さんは、スポーツが得意で勉強のできる佐藤さん
と仲がいいです。

(2) 鈴木さんはスポーツが得意で、勉強のできる佐藤さん
と仲がいいです。

III. タスク

三人の自己紹介を、聞いて、次の点についてメモしてください。

名前, 所属(学部, 学年), 出身地, 趣味, クラブに入った理由

佐藤: 文学部3年, 四国の徳島, 寝ることと食べること,
合気道はやせるために入りました。また, 攻撃す
るためではなく, 自分の身を守るスポーツなので,

合っているからです。

鈴木：文学部2年、青森、水泳、特にダイビング、クラブの仲間が好きだからです。

金子：経済学部3年、生まれは九州の鹿児島、小学校1年のとき広島県に引っ越しました。お父さんの影響で入りました。

IV. 内容質問

1. 佐藤さんは、今、太っていますか。

はい、太っています。

2. 佐藤さんは、合気道の練習についてどう思っていますか。

なかなかきついですけど、気のいい人ばかりなので、楽しいと思っています。

3. 鈴木さんは今何をしていますか。どうしてですか。

アルバイトをしています。夏に沖縄に行ってダイビングがしたいからです。

4. 金子さんのお父さんは、どんな人ですか。どんなスポーツが好きですか。

九州男児の典型です。きびしくて、男らしいスポーツが好きです。

5. 金子さんは、高校の時はどんなクラブに入っていましたか。どうしてですか。

文化系のクラブに入っていました。体が弱かったからです。

V. 応用練習(略)

スクリプト

佐藤：佐藤です。文学部、3年です。どうぞよろしく。ええと、趣味は、寝ることと食べることです。ほかにはありません。あつ、合気道はやせるために入ったんですが、効果は、まあ、ごらんのとおりです。それと、合気道は攻撃するためじゃなくて、自分の身を守るスポーツなので、ま、僕みたいな紳士には合ってると思ってます。練習はなかなかきついですけど、気のいい奴ばかりなんで、楽しいです。言うまでもありませんが、授業なんかよりずっと楽しいです。ええ、僕は四国の徳島県の出身です。あの阿波踊りで有名なところですよ。「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら、踊らにゃそんそん」と言いますが、ほんとに一度は踊ってみなきゃそんですよ。あのおもしろさはやっぱ、口では言えませんね。夏休みにはぜひ一度踊りにきてください。ま、こんなとこです。よろしく。

鈴木：ええと、文学部2年の鈴木です。ええ、青森の出身です。ええと、本州の一番北の端で、冬がとっても長いところですよ。だから、わたしは夏が大好きです。ええ、水泳、特にダイビングは最高です。ええ、はい。夏が待ちどおしいです。今年は夏になったら、沖縄に行きたいと思ってます。で、今バイトに精をだしているんですけど。ま、そんなわけで、合気道のほうはいまいちバツとしませんが、さっき佐藤さんも言ってたけど、このクラブの仲間にひかれて、入らせてもらってます。どうぞよろしくお願いします。

す。

金子：ええ、金子です。ええ、経済の3年です。生まれは九州の鹿児島県なんですけど、小学校1年のとき、広島県に引っ越したので、ええ、広島弁のほうが得意です。親父が九州男児の典型で、きびしくて、男らしいスポーツが好きなんで、実を言うと、僕が合気道に入ったのも、たぶんこの親父の影響だろうと思います。高校までは体が弱いこともあって、文化系のクラブに入ってたんです。で、親父に、いつも広のやつはよわよわ、まったく弱々しくてとか言われていて。今、合気道をはじめてもう3年になるんだけど、自分でもちょっとたくましくなったかなあと思っているんですけど。どうぞよろしく。

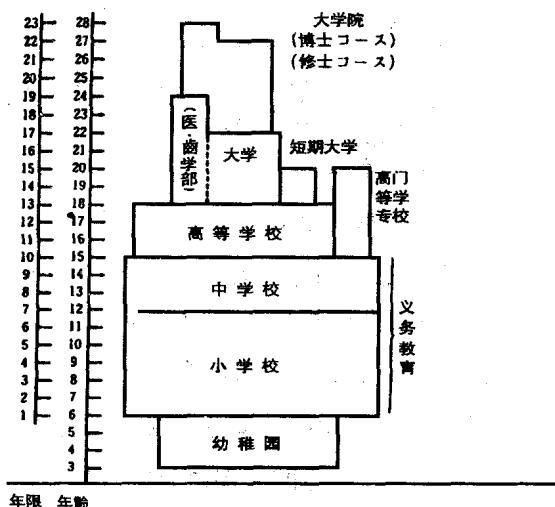
C1. ゼミの時間と教室の変更

関連知識

1. 日本の教育制度と現状

日本の学校教育制度は小学校六年、中学校三年、高等学校三年、大学四年が基本の型になっています。小学校、中学校あわせて九年間が義務教育です。高等教育機関は高等専門学校、短期大学、大学があり、国立、公立、私立に大別されます。

日本の学校体系図



学校数、在学者数、本務教員数

(1992年5月1日現在)

区分	学校数(校)				在学者数(人)				本務教職員(人)				私学の占める比率(%)		
	総数	国立	公立	私立	総数	国立	公立	私立	総数	国立	公立	私立	学校数	在学者数	本務教員数
幼稚園	15,006	49	6,222	8,735	1,948,880	6,613	391,495	1,550,772	102,275	280	24,972	77,023	58.2	79.6	75.3
小学校	24,730	73	24,487	170	8,947,252	47,231	8,834,051	65,970	440,747	1,780	435,981	2,986	0.7	0.7	0.7
中学校	11,300	78	10,596	626	5,036,880	34,811	4,782,498	219,571	282,741	1,677	270,738	10,326	5.5	4.4	3.7
高等学校	5,501	17	4,166	1,318	5,219,439	10,328	3,685,554	1,523,557	284,397	635	218,238	65,524	24.0	29.2	23.0
盲学校	70	1	67	2	4,919	212	4,592	115	3,572	80	3,452	40	2.9	2.3	1.1
学校	107	1	105	1	7,997	344	7,586	67	4,899	85	4,779	35	0.9	0.8	0.7
養護学校	786	43	729	14	76,668	2,985	73,017	666	40,764	1,220	39,347	197	1.8	0.9	0.5
高等専門学校	62	54	5	3	54,739	47,354	4,280	3,105	4,126	3,590	364	172	4.8	5.7	4.2
短期大学	591	39	53	499	524,539	17,482	22,518	484,539	21,203	1,329	1,985	17,889	84.4	92.4	84.4
大学	523	98	41	384	2,293,165	543,198	69,522	1,680,445	129,027	54,952	7,045	67,030	73.4	73.3	52.0
専修学校	3,408	161	190	3,057	861,423	17,822	30,103	813,498	35,164	772	2,083	32,309	89.7	94.4	91.9
各種学校	3,202	3	80	3,119	394,101	60	6,580	387,461	18,598	6	429	18,163	97.4	98.3	97.7
合計	65,286	617	46,741	17,928	25,370,002	728,440	17,911,796	6,729,766	1,367,513	66,406	1,009,413	291,694	27.5	26.5	21.3

注 「在学者数」欄については、高等学校は本科・専攻科・別科の合計数で、盲学校・聾学校・養護学校はそれぞれ幼稚園・小学部・中学部・高等部の全計数で、大学・短期大学は、学部、本科のほか大学院、専攻科・別科その他の合計数である

出所 文部省「92年度学校基本調査速報」

2. 大学教育のカリキュラム

大学教育は教養課程教育と専門課程教育からなっています。一年次,二年次は全学部共通カリキュラムの教養課程中心ですが,三年次,四年次は専門課程です。一,二年次では学問への正しい対応姿勢をつくるとともに広い視野と総合的な判断力を備えさせ,普通的なヒューマニズムを育てることを目的としています。三年次で主として専門課程における基礎知識や基本的技術の習得に主眼を置き,同時に関連文献の紹介,指定文献の輪読を行い,四年次では各自の学的興味に基づいて自主的に研

究テーマを設定するよう求め、卒業論文として完結させます。

3. ゼミと研究室

大学教育は講義が一般的です。ゼミも大学教育方法の一つです。三年次以上の学生には全員に必修制のゼミナール受講を義務づけ、また、卒業論文の提出を卒業するための必須条件としています。

大学院では各学部に対応して、高度の専門的勉強と研究とに応じ得るよう研究科が設置運営されています。教授陣が各自の研究室を持ち、研究文献や資料を収集しているので、そこで研究やゼミ、卒論の指導を行っています。また、研究室では、相互の信頼と友情を深めるために、合宿、コンパ、研修旅行など年数回行います。

大多数の大学院教授が学部の教授を兼ねているので、全学部の学生が大学院教授を中心にした学界の第一線で活躍する教授陣から講義、ゼミの指導を受けることが日本の大学の大きな特色です。

関連語彙

履修届	必修科目	選択科目	教養科目
修士課程	博士課程	定期テスト	期末試験
中間発表	ディスカッション	演習	輪読
卒論	本館	～号館	AVセンター
第～講義室	演習室	発表する	討論する
受講単位	発表会	レポート	実験室